

## どうじょうくん

### 道場訓

ひとつ われわれ しんしん れんま かっこふぼつ しんぎ きわめること  
一、吾々は、心身を練磨し、確固不抜の心技を極める事。

わたしたち からて しゅぎょう もくてき じぶん じしん からだ こころ きたえる しんけん けいこ うちこむ  
私達が空手を修行する目的は、自分自身の体と心を鍛えることにあり、真剣に稽古に打ち込む

こと、どんなことにも動じない心と強い意志を習得していかなければいけない。

ひとつ われわれ ぶ しんずい きわめき ほっしかん びん  
一、吾々は、武の神髄を、極め機に発し感に敏なること。

わたしたち ぶどう からて みち てっいてき ついきゅう じょうきょう りんきおうへん たいおう  
私達は武道としての空手の道を徹底的に追求することで、どんな状況でも臨機応変に対応す

る力と相手の心を理解する思いやりや優しさ、どんなことにも素直に感動できる心を身につけなければならない。

ひとつ われわれ しつじつごうけん もってじこ せいしん かんよう  
一、吾々は、質実剛健を、以って克己の精神を涵養すること。

わたしたち じぶん かざる まじめ すなお からて しゅぎょう うちこむ じぶんじしん  
私達は自分を飾ることなく、真面目で素直に空手の修行に打ち込むことによって、自分自身に

打ち勝つ心を養っていくことを心がけなければならない。

ひとつ われわれ れいせつ おもんじちょうじょう けいしそぼう ふるまい つつしむ  
一、吾々は、礼節を、重んじ長上を敬し粗暴の振る舞いを慎むこと。

わたしたち れいぎ み めうえ ひと うやまい ひとまえ からて ちから こじ こうどう  
私達は、礼儀を身につけ目上の人を敬い、人前で空手の力を誇示するような行動をとってはな  
らない。

ひとつ われわれ しんぶつ とうとびけんじょう びとく わすれざる  
一、吾々は、神仏を、尊び謙譲の美德を忘れざること。

わたしたち にんげん ちから およばないしぜん うちゅう せつり おもんじ かみ ほとけ うやまい あいて たいせつ  
私達は、人間の力が及ばない自然や宇宙の摂理を重んじ、神や仏を敬い、相手のことを大切に

し、自分を謙遜する態度を忘れてはいけない。

ひとつ われわれ ちせい たいりよく こうじょう こと のぞんであやまたざる  
一、吾々は、知性と体力とを向上させ、事に臨んで過たざること。

わたしたち からて しゅぎょう ちせい たいりよく こうじょう じょうきょう あせらず れいせい たいしょ  
私達は、空手の修行によって知性と体力を向上させ、どんな状況でも焦らず、冷静に対処で  
きるようにならなくてはならない。

ひとつ われわれ しょうがい しゅぎょう からて みち つうじ きょくしん みち まっとうする  
一、吾々は、生涯の修行を空手の道に通じ、極真の道を全うすること。

ぶどう からて しゅぎょう いっしょう おいもとめる いっしょう つうじてごくい いっぽ  
武道としての空手の修行は一生かけて追い求めるものであり、一生を通じて極意に一步でも

ちかづこう しせい きょくしん ほんぎ  
近づこうとする姿勢、それが極真の本義である。